

令和5年度 第1回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月10日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 篠原小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、森下 晃司、小楠 倫嗣、辻村 栄子、
石津 正貴、横井 詠子、野寄 裕義、佐野 みなみ
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 結城 知則（校長）、井上 純子（教頭）、中村 敦（主幹）、
井内 早穂里（CS担当教職員）、中島 和美（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 中島 和美
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、協議の中で会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 浜松市立篠原小学校いじめ防止基本方針についての説明
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

10 会議記録

司会の井上から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 子どもが調理実習を行った際の感想を言っていたが、実際の体験から得られるものはとても大きいと感じた。また、ぐんぐんスポーツ大会で行うダンスも子ども達で曲を決めたと聞き、家で練習している様子を見て、学校で経験して成長しているのだなと思った。（佐野委員）
- ・ 地域の方と子どもとの交流の場で、子ども達がお年寄りにとても気を遣って行動してくれ、やさしい子が多いと感じた。（森下委員）
- ・ 参観会の後に担任がクラスの経営方針を説明してくれ、非常に良かったが、兄弟全員のクラスの話聞くことができないので、何らかの形で教えてもらえると嬉しい。（野寄委員）
- ・ 子どもが委員会の委員長をしており、委員会活動では話し合いも多いと聞いたが、学校で力を入れている活動（子ども主体の特別活動、対話活動）なのだと思えた。本人は不安がっているが、社会に出てからも必要になることなのでいい経験ができて良いと思っている。（横井委員）
- ・ 学校方針を発信していくことについて、紙ベースでのお便りも、パソコンですぐに発信するのどちらも大切だと思うので、うまく活用して盛り上げてほしい。（直樹委員）
- ・ 下校ボランティアに参加し、子ども達とたくさん話をする事が出来て楽しかった。もっとボランティアに参加し、子ども達と自然に接する機会を増やしていきたい。（辻村委員）

- ・ 皆さんの話や子ども達がタブレットを使う様子から、時代の変化、IT化がとても進んでいると感じる。(小楠委員)
- ・ 「主体的」とか「自立」を目指す、というのは非常に難しいと思う。タブレットでの学習も良いが、実際の体験も増やしてほしい。実体験としての成功体験から自信がつき、それが意欲につながり、意欲を持って主体的に取り組めば成果につながるといういい循環になると思う。(脇本委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 浜松市立篠原小学校いじめ防止基本方針についての説明

- ・ 毎週のカウンセリングとはどのようなことを行っているのか。(直樹委員)
- 毎週1回、月に3回スクールカウンセラーに来ていただき、教室での子どもの様子を見てもらう、カウンセリング希望のあった保護者と1対1で話をする、子どもと保護者の3人で話をする、その子に対して学校側で出来ることをアドバイスしてもらう、などを行っている。(敦)
- ・ カウンセリングの仕組みを知らない保護者もいると思うので、もっと周知したらいいと思う。(横井委員)
- ・ 学校が具体的にいじめ対策に取り組んでいると知ることができて良かった。「未然に防ぐ」「見逃しゼロ」というのがありがたい。(佐野委員)
- ・ いじめられていても親に話せない子もいると思うし、子どもたちは先生の前ではいじめないので先生もなかなか気付けないと思うが、どうするのがいいのか。(辻村委員)
- 周りの子が気付いて大人に伝えることも大切で、大人に知らせる勇気があるといいなと思う。(横井委員)
- 学校側から説明のあった「傍観者を作らない」ということにつながる。先生が話を聞いてくれるという安心感、子どもと先生の信頼関係につきると思う。(石津委員)
- ・ 学校は集団生活をして折り合いをつける場所なのだから、いろいろ衝突は起きるはず。先生方は、アンケートでいじめがないからと安心するのではなく、子ども同士の関係を知る努力をし、子どもが先生を信頼して安心して話ができる関係を築いてほしい。(脇本委員)
- 今の担任だけでなく、教職員全員が子どもとの信頼関係を築けるよう目指したい。(校長)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対して説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・ 石津委員より、今年度の学校支援活動計画についての説明がなされた。
- ・ 校長より、来年度行われる150周年記念事業について方針の報告があった。
- ・ 教頭より、次回会議は、令和5年6月15日(木)午前10時00分から会議室で開催する旨の報告があった。